#2:
年度跨ぎによるDB更新の検討

本課題について

本紙では課題一覧の内、#2について整理する。

※「課題一覧.xlsx」より抜粋

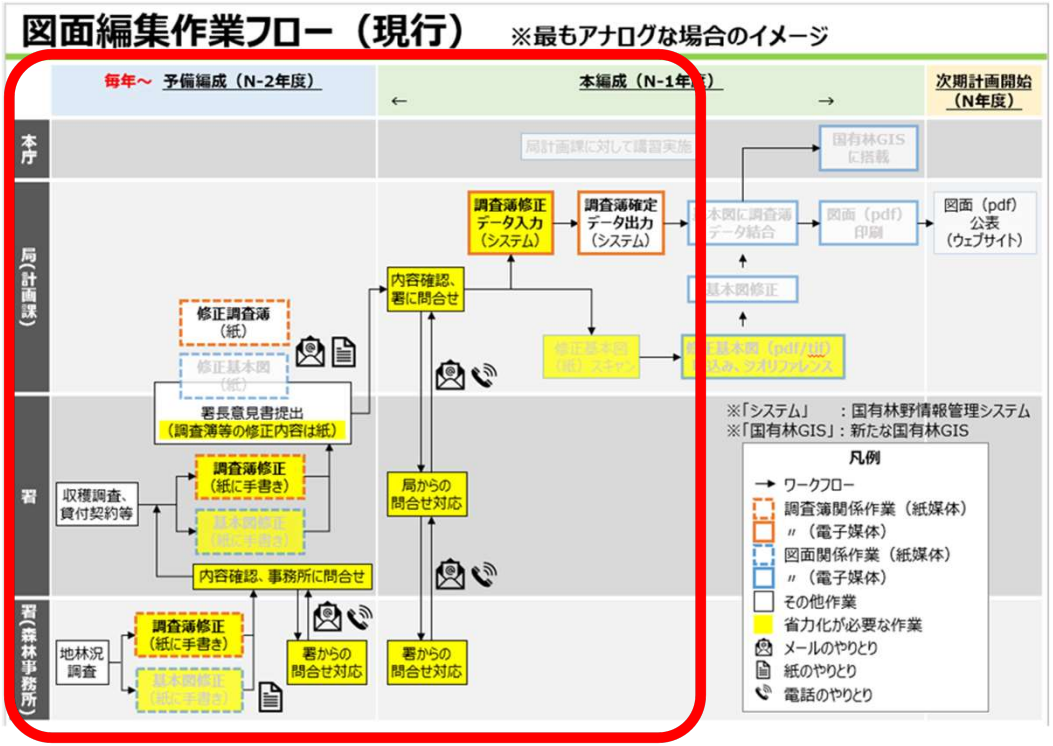
#	サブシステム	課題タイトル	課題内容	優先度
2	森林情報管理	年度跨ぎによるDB更新の検討	以下①②を対応/検討する中で年度跨ぎによりDB更新処理を検討する必要がある。 ①調査簿承認業務の見直し 職員数が減る中、また後続の図面編集作業の効率化を考慮すると、局で全計画区をシステム入力するオペレーションはサステナブルではないため、署等で修正したものを局が承認したうえでDBに反映する仕組みを採用したい。 ※全局共通業務としていきたい。 ※システム登録と署等の森林調査簿修正時期が異なるため年度を跨いだ修正過程と年度更新を考慮する必要がある。 ②林小班の一括修正機能の見直し 調査簿をシステムで修正する際、現行では、基本的には小班ごとにしか修正できず非効率なため、一括入力機能を見直したい。 ※現行の一括修正機能は、制約（MAX連続100林小班単位、項目ごとの修正）がありバリデーションチェックにひっかかって進まないなど難点がある。	高

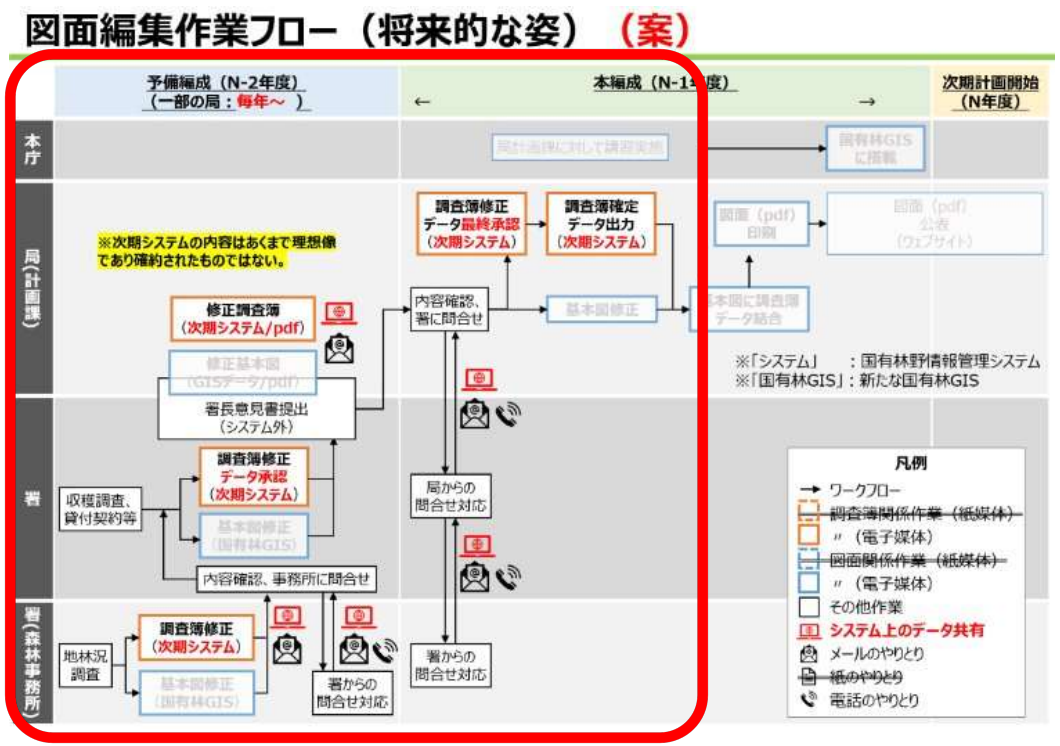
要求整理

要求を以下に示す。

- 全局共通業務として、署等で調査簿データを修正可能とし、局が修正・承認した調査簿データのみ（確定データのみ）年度別や樹立作業データとして活用できる仕組みとしたい。
  ※システム登録と署等の森林調査簿修正時期が異なるため年度を跨いだ修正過程と年度更新を考慮する必要あり。
- 調査簿をシステムで修正する際、現行では、基本的には小班ごとにしか修正できず非効率なため、一括入力機能を見直したい。

※以下、貴庁提供資料より抜粋





要件整理

要件を以下に示す。

➢ 調査簿**修正**の業務に関わる要件

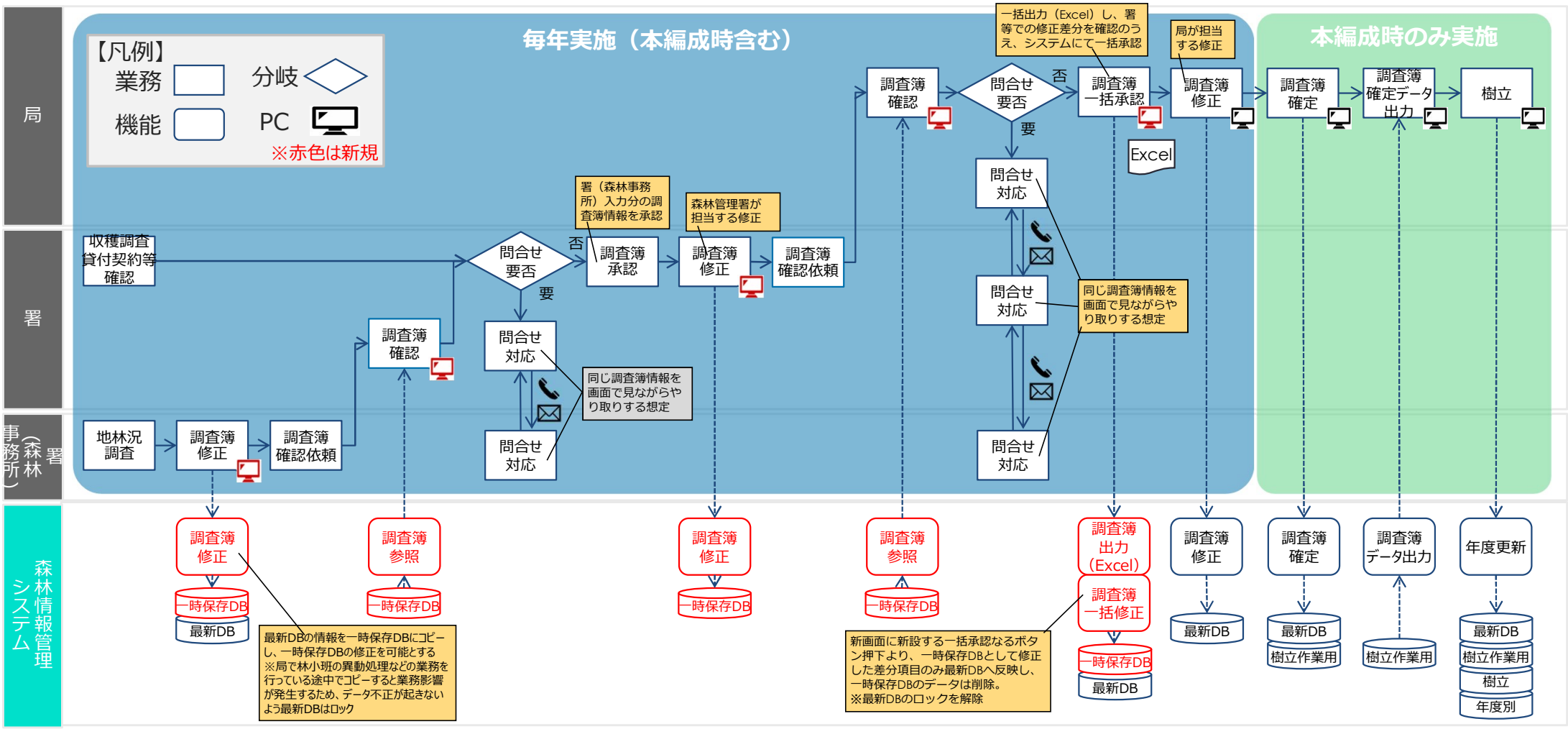
- 局だけでなく、署や署（森林事務所）もシステムにて単一調査簿の修正ができること
- 署や署（森林事務所）が調査簿を修正する際は、新たに新設する一時保存DB(名称仮)にデータがない場合、最新DBからデータ取得し、一時保存DB側を修正すること
  ※一時保存DBは局での承認をもって削除する。
- 一時保存DBを修正する際も現行と同様の調査簿等情報入力に関わる相関チェックを実施すること
- 一時保存DBの調査簿は局も修正可能とすること
- 一度システムにて局が承認した（最新DBへ反映した）調査簿を署、署（森林事務所）が変更することは不可とすること
- 従来どおり署、署(森林事務所)がシステムでの修正をせず、局がシステムにて調査簿を修正・確定する流れも実現すること
- 署(森林事務所)はシステムで修正するが署はシステムを利用しないケースは運用回避すること（署もシステム利用するか従来通りシステム利用しないかのいずれかの対応をする）
- 署、署（森林事務所）において、併任での運用は不可（権限過剰）とし、一時保存DBへの調査簿のアクセス権のみとすること

➢ 調査簿**承認**の業務に関わる要件

- 局が承認する際は、主に署や署（森林事務所）が一時保存DBとして修正した箇所が分かること
- 署や署（森林事務所）が修正した一時保存DBの調査簿は、局での一括承認をもって最新DBへ反映すること
- 局が承認した時点で最新DBと競合が発生した場合は、一時保存DBの情報で修正すること
- 林小班の新規登録、分割、統合、削除、林小班名の振直しがある場合は、最新DBへの反映が困難であるため、事前に局で登録すること
- 署や署（森林事務所）が修正した内容に不備等あればシステム外で連絡・管理すること
- 局が承認した後での差し戻しは不可とし、その際は1から修正し直すこと
- 署(森林事務所)が修正した調査簿は**システム外で**署が承認すること

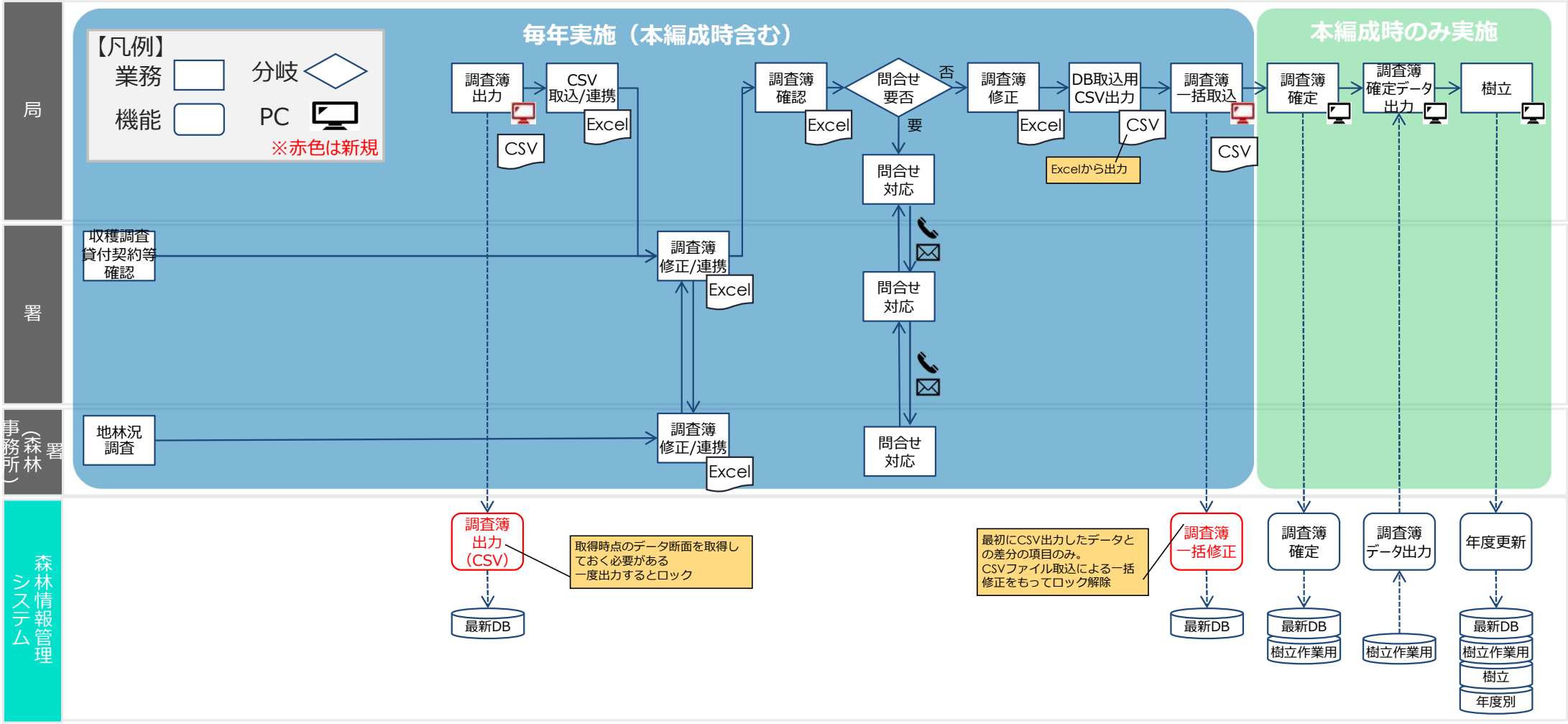
調査簿の承認に関わる業務フロー（ToBe）（1/2）

貴庁案をもとに調査簿の承認に関わる業務フロー（調査簿の修正から確定、確定したデータ出力までの業務フロー）の検討結果を示す。



調査簿の承認に関わる業務フロー（ToBe）　(2/2)

工程１で実現する従来どおり署、署(森林事務所)がシステムでの修正をせず、局がシステムにて調査簿を一括修正・確定する場合の業務フローも示す。

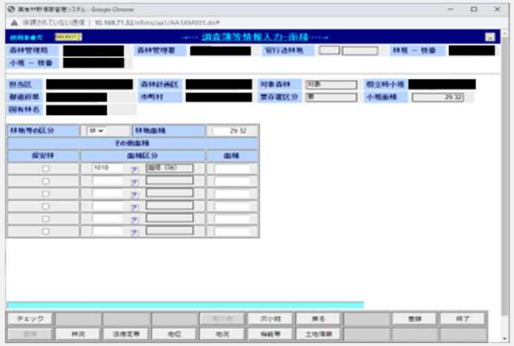


検討事項｜調査簿の修正方針（1/2）

現行業務や工程1より調査簿情報の修正方法として以下が考えられるが、工程2（本体）の検討方針に則りF、Gは選択肢から除外する。

A. 単一調査簿修正

・単一の調査簿を修正（現行機能）



B.CSV取込

・CSV取込による一括修正（工程1実現予定機能）

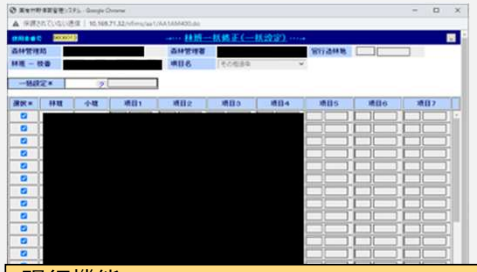
C.Excel取込

・Excel取込による一括修正（工程1機能改善）

工程1で想定しているシステム⇔CSV⇔Excel運用の内、CSVを省略（システム⇔Excel）した運用の提案

D. 一括置換（単項目）

・単一項目の値を一括修正（現行機能）



現行機能
※現状単一項目の一括置換だと相関関係チェックに引っ掛かり、使い勝手が悪い。

E. 一括置換（複数項目）

・Redmineのような複数項目の値を一括修正

実現するとなれば、以下などを想定
案1：調査簿全項目を画面表示
案2：相関関係チェック対象の項目のみ表示
※相関関係が複数あればその分画面表示

F. 複数調査簿同時修正

・スプレッドシート機能（連続コピー等）相当の実現

森林情報管理
システム

G.ブラウザ操作の自動化（RPA等）

H.システム外

・CSV、Excel等によるファイル修正
（主に署、署（森林事務所）での現行運用）

検討事項｜調査簿の修正方針（2/2）

調査簿の承認フローを実現するために、局、署、所（森林事務所）でそれぞれどの調査簿修正方法をさせるか検討した結果、局での最終承認以外はシステムでの実現が困難となったため案⑥となった。

赤色…案②との差分

案① 現行維持	局	署	所
A. 単一調査簿修正	●		
B. CSV取込			
C. Excel取込			
D. 一括置換（単項目）	●		
E. 一括置換（複数項目）			
F. 複数調査簿同時修正			
G. ブラウザ操作の自動化（RPA等）			
H. システム外		●	●

案② 工程１	局	署	所
A. 単一調査簿修正	●		
B. CSV取込	●		
C. Excel取込			
D. 一括置換（単項目）	●		
E. 一括置換（複数項目）			
F. 複数調査簿同時修正			
G. ブラウザ操作の自動化（RPA等）			
H. システム外		●	●

案③ CSV取込機能解放	局	署	所
A. 単一調査簿修正	●		
B. CSV取込	●	●	●
C. Excel取込			
D. 一括置換（単項目）	●		
E. 一括置換（複数項目）			
F. 複数調査簿同時修正			
G. ブラウザ操作の自動化（RPA等）			
H. システム外		●	●

案④ Excel取込統一	局	署	所
A. 単一調査簿修正	●		
B. CSV取込	●		
C. Excel取込	●	●	●
D. 一括置換（単項目）	●		
E. 一括置換（複数項目）			
F. 複数調査簿同時修正			
G. ブラウザ操作の自動化（RPA等）			
H. システム外		●	●

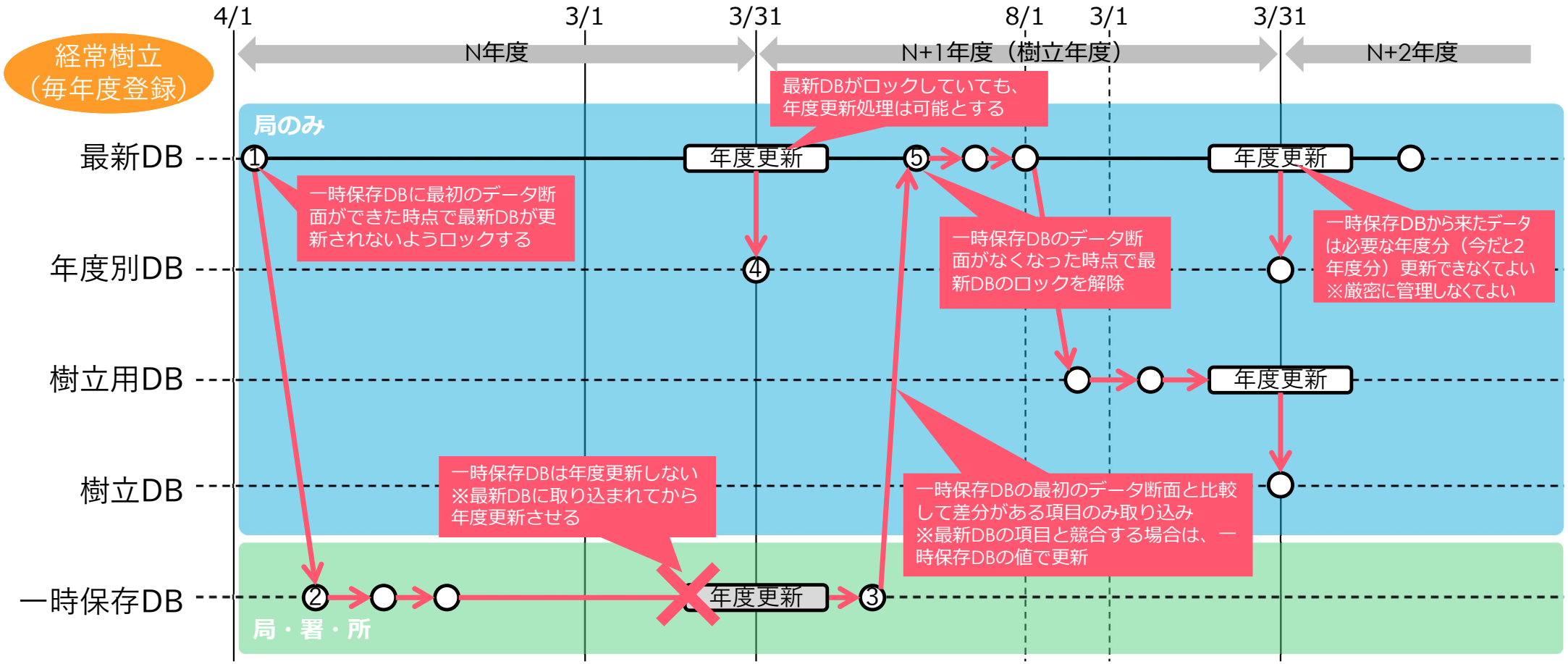
案⑤ 一括置換機能	局	署	所
A. 単一調査簿修正	●		
B. CSV取込	●		
C. Excel取込			
D. 一括置換（単項目）	●		
E. 一括置換（複数項目）	●	●	●
F. 複数調査簿同時修正			
G. ブラウザ操作の自動化（RPA等）			
H. システム外		●	●

案⑥ 署・所への機能解放	局	署	所
A. 単一調査簿修正	●	●	●
B. CSV取込	●		
C. Excel取込			
D. 一括置換（単項目）	●		
E. 一括置換（複数項目）			
F. 複数調査簿同時修正			
G. ブラウザ操作の自動化（RPA等）			
H. システム外		●	●

検討事項｜一時保存DBによるデータ整合確認（1/3）

凡例
：データ更新
：データ断面

署、所（森林事務所）がデータ修正する際は最新DBとは別の一時保存DBを修正することとし、データ整合は以下の方式で担保する。
※①～⑤時点での具体的なデータイメージは次頁にて説明



検討事項｜一時保存DBによるデータ整合確認（1/3）　｜参考

一時保存DBの内容を最新DBに反映する際、最新DBと競合する項目は一時保存DBの値で更新する。以下、サンプルイメージ。

①最新DB（初期）

局コード	署コード	林班	小班	面積	材積ha	樹種	層区分	林齢	胸高直径	樹高	本数Ha	成長率
100	100	0001	い	5	130	トドマツ		100	20	20	400	0.9
100	100	0001	い	5	130	エドマツ		100	20	20	400	0.9

②一時保存DB（初期）

局コード	署コード	林班	小班	面積	材積ha	樹種	層区分	林齢	胸高直径	樹高	本数Ha	成長率
100	100	0001	い	5	130	トドマツ		100	20	20	400	0.9
100	100	0001	い	5	130	エドマツ		100	20	20	400	0.9

③一時保存DB（更新）

局コード	署コード	林班	小班	面積	材積ha	樹種	層区分	林齢	胸高直径	樹高	本数Ha	成長率
100	100	0001	い	4.5	115	トドマツ	上	100	20	20	400	0.9
100	100	0001	い	4.5	115	エドマツ	上	100	20	20	400	0.9
100	100	0001	い	4.5	115	ミズナラ	下	50				

④最新DB（年度更新）

局コード	署コード	林班	小班	面積	材積ha	樹種	層区分	林齢	胸高直径	樹高	本数Ha	成長率
100	100	0001	い	5	120	トドマツ		101	21	21	401	0.9
100	100	0001	い	5	120	エドマツ		101	21	21	401	0.9

⑤最新DB（一時保存DBを反映）

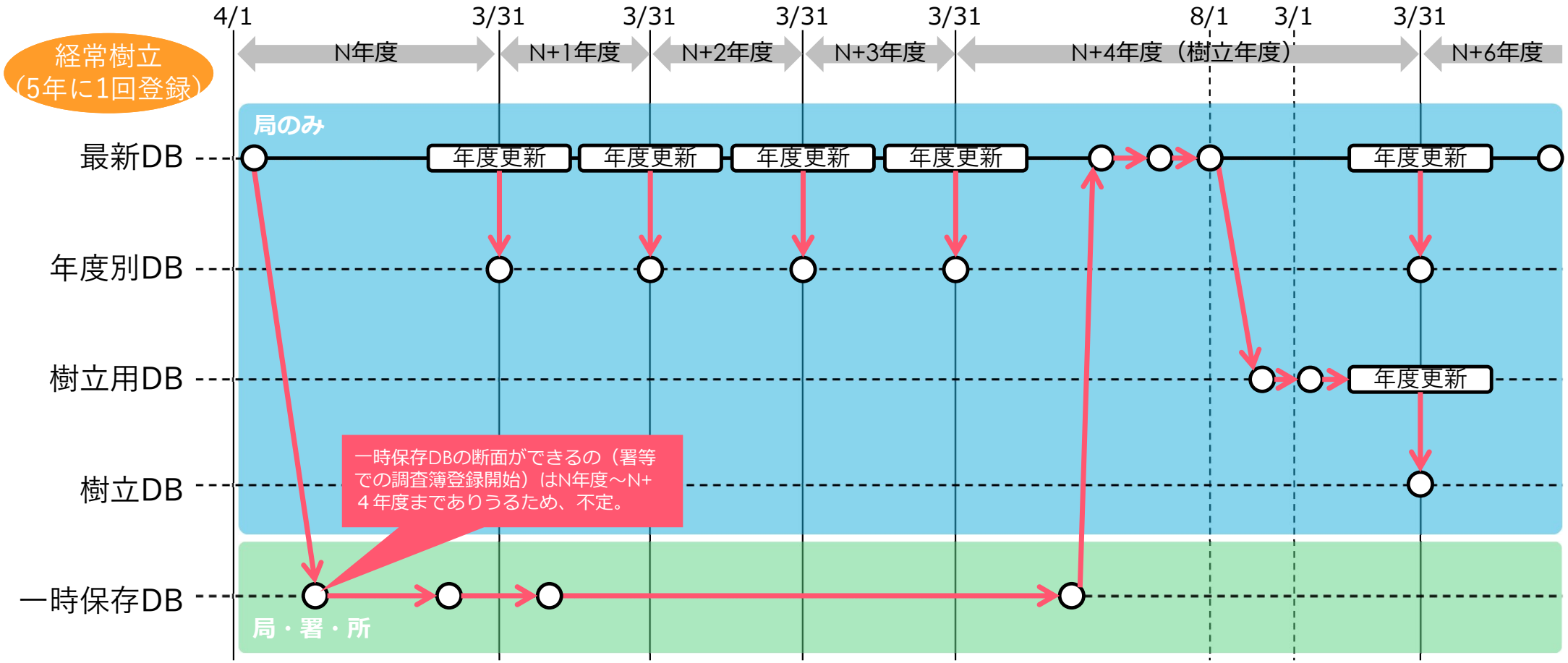
局コード	署コード	林班	小班	面積	材積ha	樹種	層区分	林齢	胸高直径	樹高	本数Ha	成長率
100	100	0001	い	4.5	115	トドマツ	上	101	21	21	401	0.9
1			い	4.5	115	エドマツ	上	101	21	21	401	0.9
100	100	0001	ろ	4.5	115	ミズナラ	下	50				

年度更新時の「120」でなく、一時保存DB更新の「115」で更新する

検討事項｜一時保存DBによるデータ整合確認（2/3）

凡例
：データ更新
：データ断面

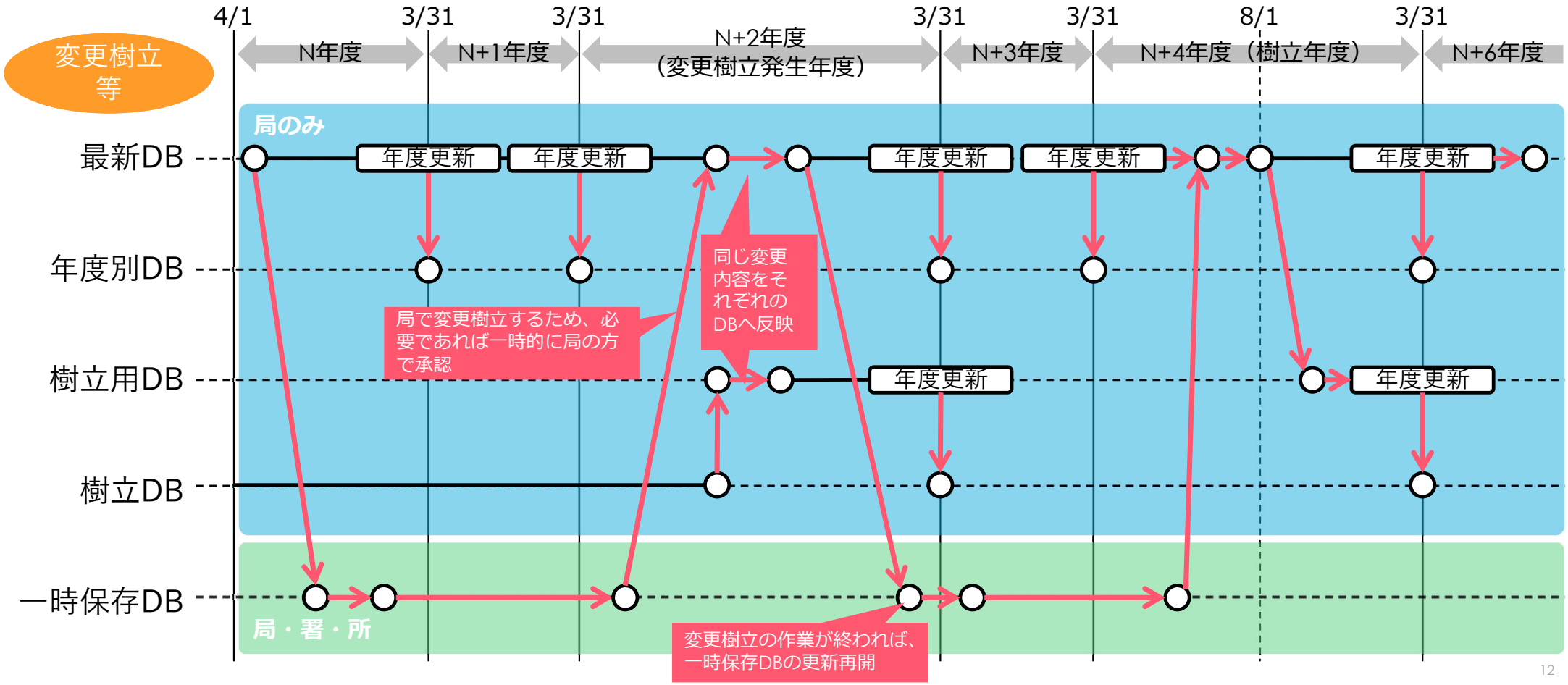
署、所（森林事務所）がデータ修正する際は最新DBとは別の一時保存DBを修正することとし、データ整合は以下の方式で担保する。



検討事項｜一時保存DBによるデータ整合確認（3/3）

凡例
：データ更新
：データ断面

署、所（森林事務所）がデータ修正する際は最新DBとは別の一時保存DBを修正することとし、データ整合は以下の方式で担保する。

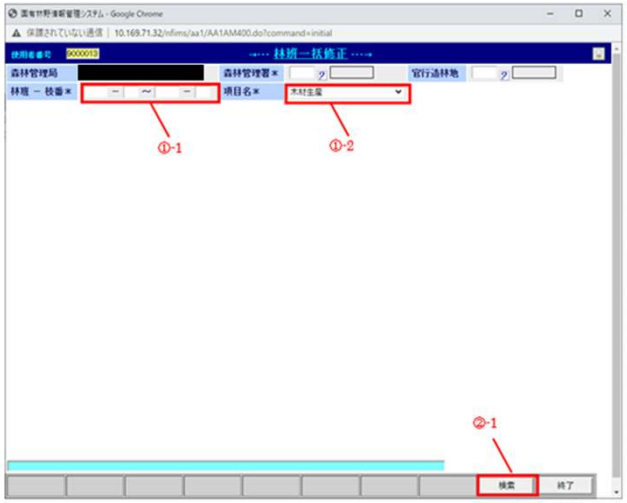


Appendix

現行の林班一括修正

※現行の操作マニュアルより引用

(13)林班一括修正



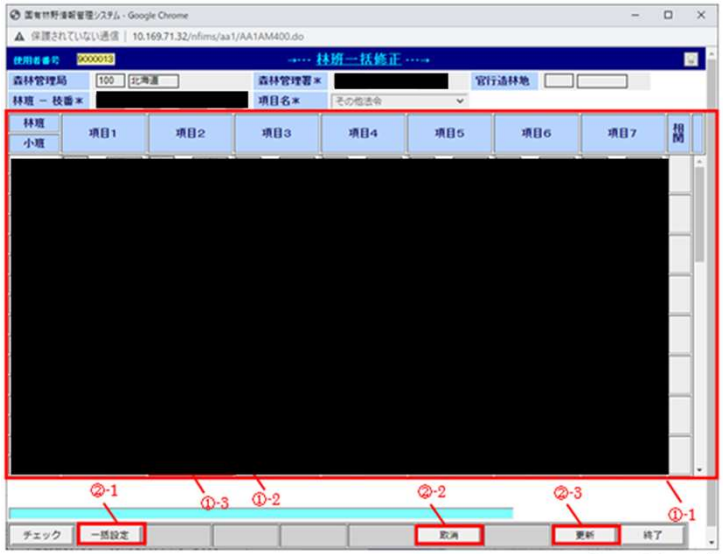
(1ページ／3ページ)

①主要項目説明		
	①-1 林班一枝番	修正を行う林班の範囲を入力する。
	①-2 項目名	修正を行う調査簿の項目を選択する。
②主要ボタン説明		
	②-1 検索	入力された森林管理署、官行造林地、林班に該当する小班の、【①-2 項目名】で指定した項目の一覧を検索し、表示する。 ※林班の範囲指定時のみ一度に修正できる件数は 100 件となる。

【一括修正可能な項目】

・木材生産　・水源涵養　・山地災害　・快適環境形成　・保健文化　・国土保全林
・保護林区分　・レク森区分　・林相保全　・自然公園　・施業細分　・公益的機能増進施業森林
・施業方法　・機能類型　・施業群　・緑の回廊　・林齢細分　・林種
・地質　・土壌型　・標高　・風害害　・霜害　・雪害
・下層植生　・下層被度　・下層高さ　・林型区分　・林型層構造　・森林帯
・観察種類　・観察内容　・観察情報種　・林型関連　・国立公園名　・国定公園名
・県立公園名　・保護林名称　・レク森名称　・伐採方法(指定施業要件)
・植栽指定(指定施業要件)　・伐採限度面積(指定施業要件)　・調査方法　・国有林名等
・備考1　・備考2　・基本図番号　・空中写真番号　・ha 当り材積　・保安林
・その他法令　・その他契約

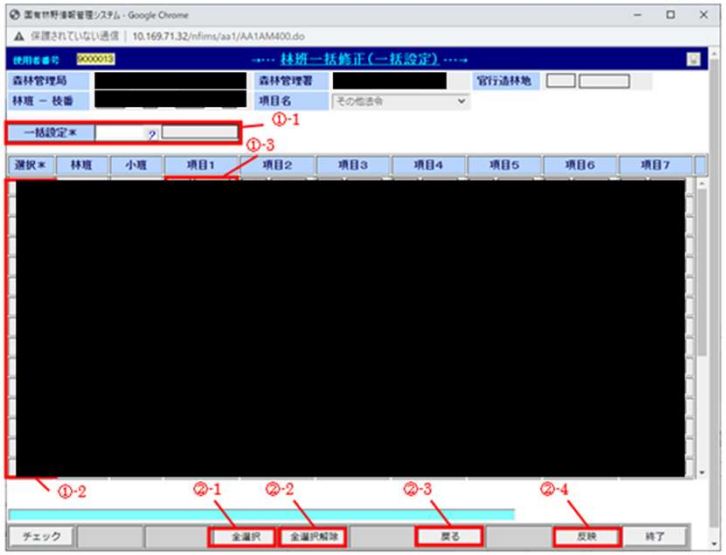
検索後



(2ページ／3ページ)

①主要項目説明		
	①-1 検索結果	入力された森林管理署、官行造林地、林班に該当する小班の、項目名で指定した項目の一覧が表示される。小班ごとの入力を行うことが出来る。
	①-2 修正前	修正前の値が表示される。
	①-3 修正後	修正後の値が表示される。この値を変更し、【②-3 更新】をクリックすることで【①-2 修正前】に反映される。
②主要ボタン説明		
	②-1 一括設定	【林班一括修正(一括設定)】画面へ遷移する。
	②-2 取消	検索結果・未更新の修正を取消し、検索条件の入力へ戻る。
	②-3 更新	修正した内容を調査簿へ反映する。

一括設定時



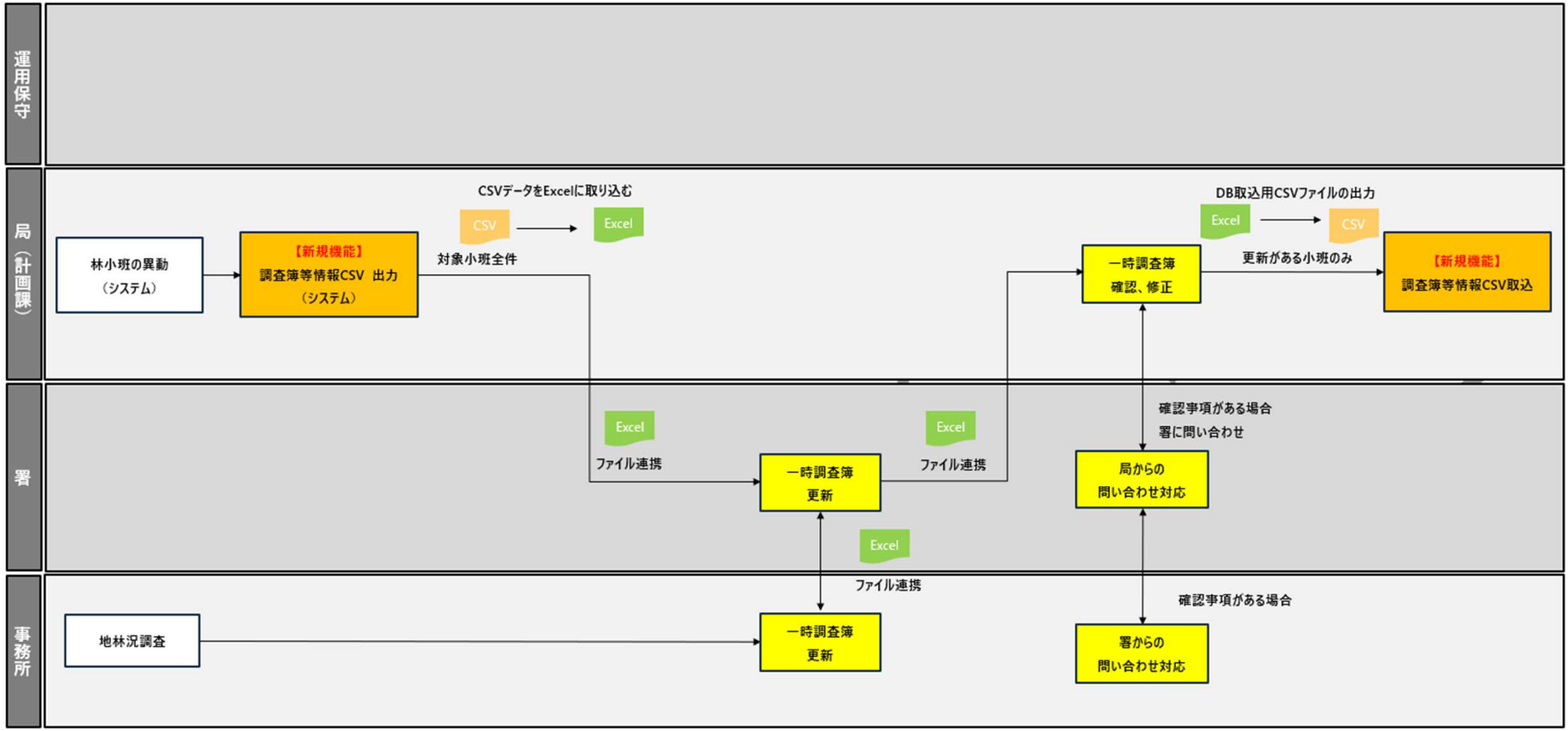
(3ページ／3ページ)

①主要項目説明		
	①-1 一括設定	【②-4 反映】をクリックした時、ここに入力した値が【①-2 選択】でチェックされている小班全てに反映される。
	①-2 選択	一括設定の反映対象とする小班のみを選択する。
	①-3 修正後	全画面の【修正後】の値が表示される。
②主要ボタン説明		
	②-1 全選択	【①-2 選択】のすべてにチェックを入れる。
	②-2 全選択解除	【①-2 選択】のすべてのチェックを外す。
	②-3 戻る	小班ごとの入力画面へ戻る。
	②-4 反映	【①-1 一括設定】に入力した値を【①-2 選択】でチェックされている小班全てに反映し、【林班一括修正】画面へ戻る。

Appendix | 一括修正検討資料（工程1）

※詳細別紙「(機2)(業務関係者限り)AA1-11_調査簿等情報一括入力(全体概要資料)_1.0 _20250821.xlsx」参照

■業務フロー

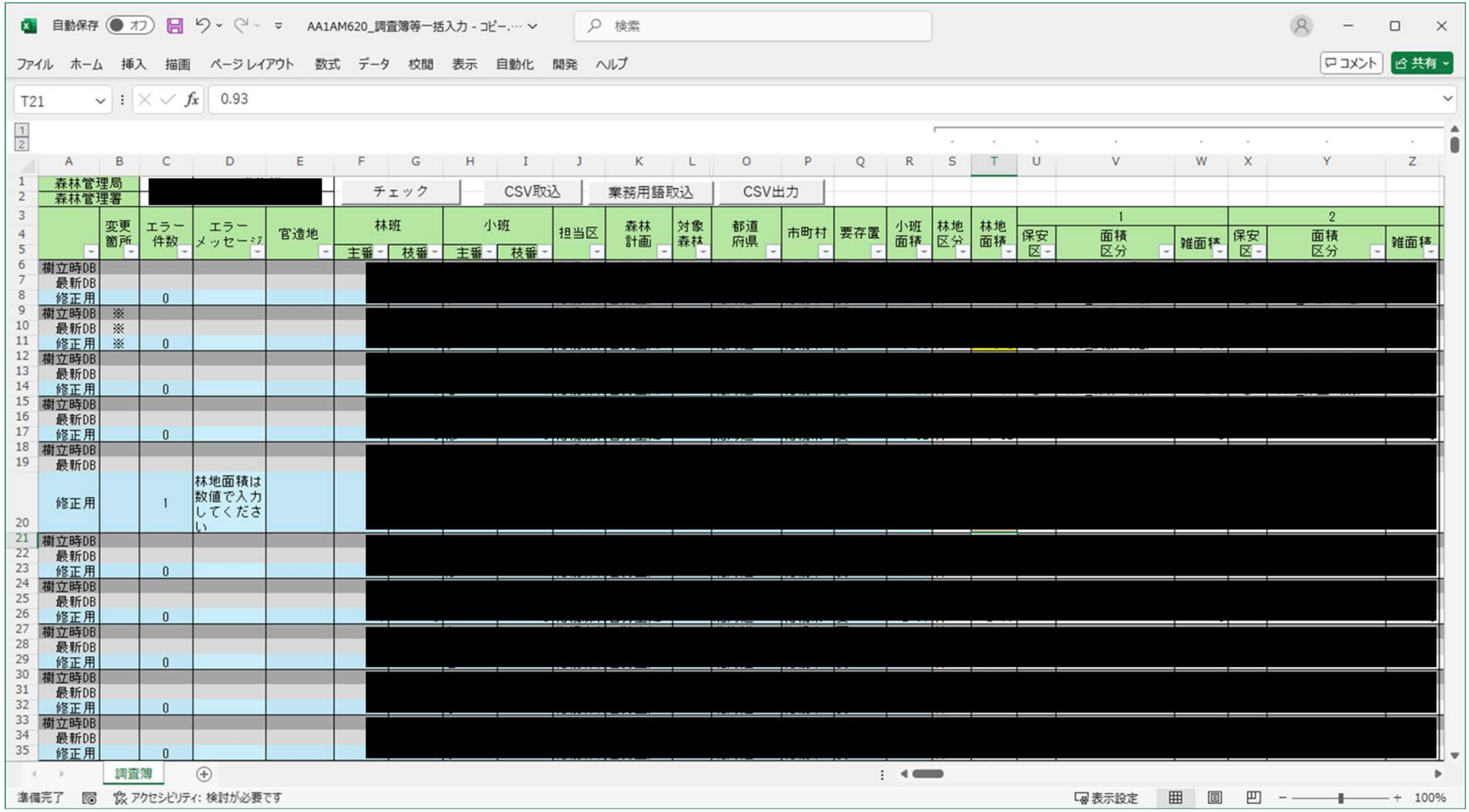


※詳細別紙「(機2)(業務関係者限り)AA1-11_調査簿等情報一括入力(全体概要資料)_1.0 _20250821.xlsx」参照

■調査簿等情報CSV出力画面イメージ

※詳細別紙「(機2)(業務関係者限り)AA1-11_調査簿等情報一括入力(全体概要資料)_1.0 _20250821.xlsx」参照

■調査簿等一括修正Excel画面イメージ



※詳細別紙「(機2)(業務関係者限り)AA1-11_調査簿等情報一括入力(全体概要資料)_1.0 _20250821.xlsx」参照

■調査簿等情報CSV取込画面イメージ

※詳細別紙「★【機２：システム担当者限り】森林情報管理SSの調査簿、DBの関係20250328.pptx」参照

【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【現在の業務フロー】

編成にあたって計画に必要な事項は調査簿の修正にかかる箇所含め署長意見書として電子ファイル等で報告されるが、
地・林況調査の結果、実行結果等に紙で打ち出した森林調査簿に朱書きで修正/追記し、局へ提出するパターンが多い

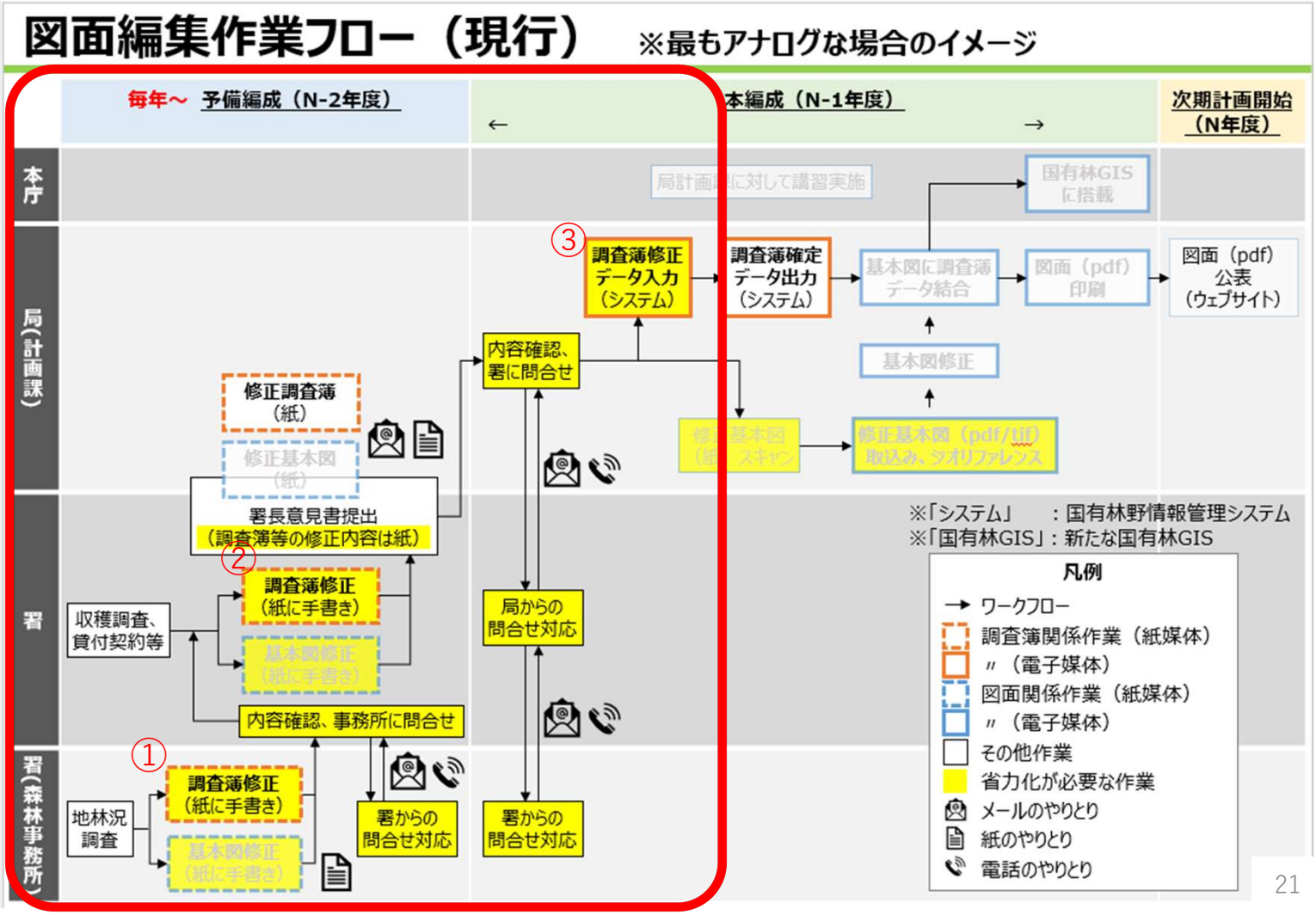
※各種調査簿は事前送付

① 森林官が携行版の調査簿に林況や事業実行結果を朱書き修正/追記し、署等へ提出

② 署で森林官から提出される携行版の内容やその他調査簿の変更に関する事項を森林調査簿に朱書きで転記/追記し、局へ提出
※携行版のみの場合も

③ 署等から提出された調査簿を基に局で刷新システムに入力

※ 本フローは図面修正の効率化にあたって、計画にかかる現材の業務フローをまとめたものであり、赤枠が刷新の調査簿入力にあたっての処理

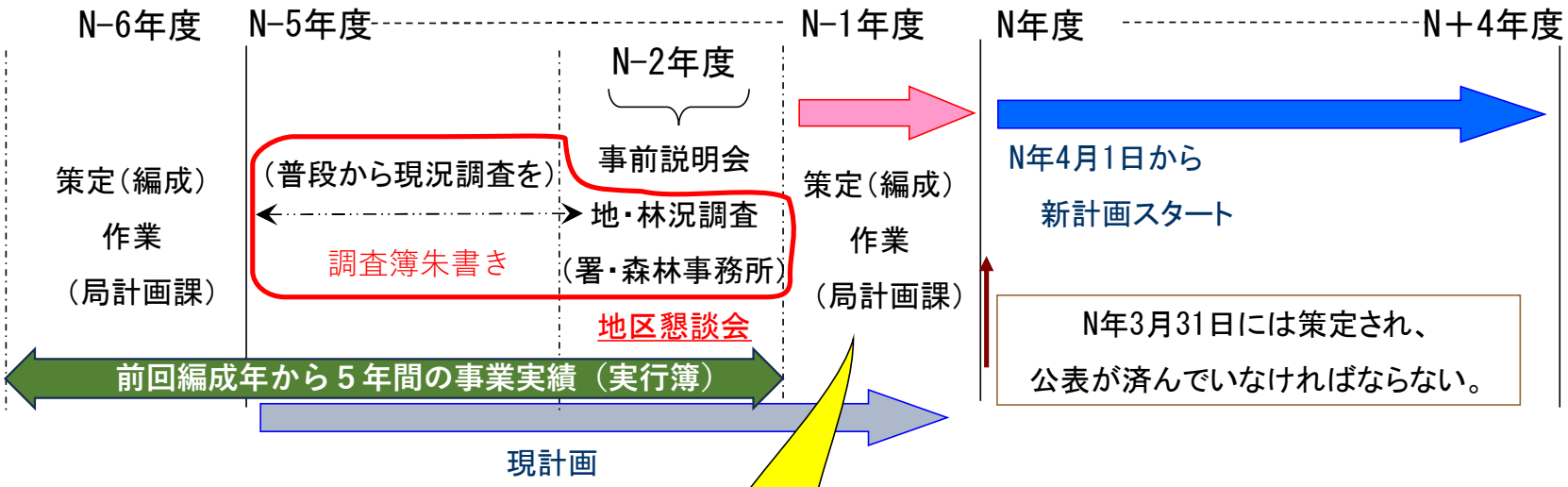


【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

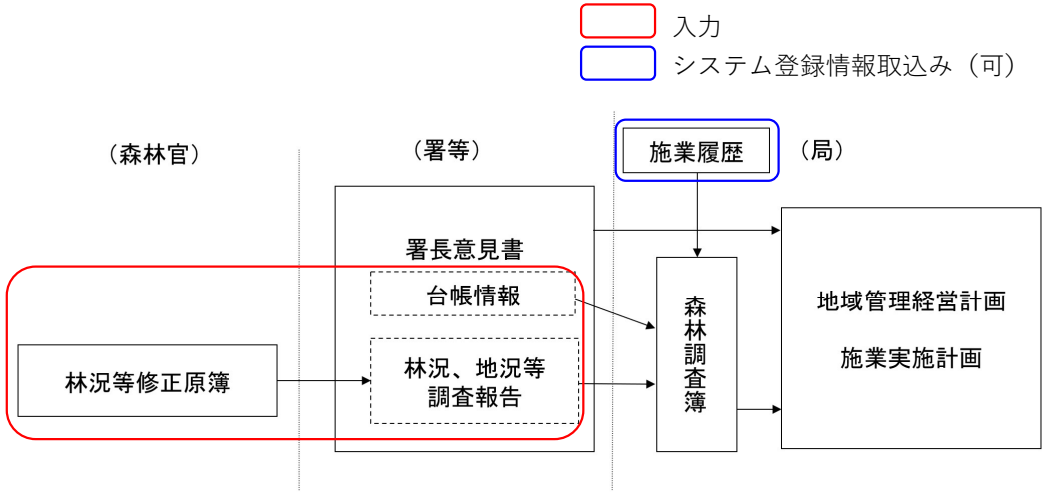
【計画策定のスケジュール】

N-1年度策定計画区　：　〇〇森林計画区

（計画期間：自　N年4月1日　至　N＋４年3月31日）



〇各種台帳をまとめ、調査簿DBに反映　（署長意見書等に記載も）
（地籍台帳、貸付台帳、保安林、分収林、施業指標林・試験地等、
保護林・緑の回廊、ふれ森・遊々の森等、レク森、路網台帳　etc…）
〇過去5年間の事業実績をDBへ反映（施業履歴の取込み、入力）
〇地・林況調査の報告を調査簿DBに反映（朱書き修正紙調査簿から）
〇署長意見書を基に伐採量等を決定　※伐造簿作成
〇計画書作成



【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【改修要望概要と注意点】

※　実装内容については、期間、工数等を考慮し、取捨選択

1. 森林調査簿修正効率化（スプレッドシートによる一括修正）
   （１）一括修正対象
      ①　小班数と項目数：１計画区 1,000～10,000小班、小班あたりの変更対象項目：170項目程度
         ※　必ずしも毎回全項目変更するわけではない　（現行にも一括修正メニューあり：後述）
   （２）承認フロー　ステータスは２種類 ※ 公表ステータス必須
      ①　公表対象：公表対象（業務資料として毎年度公表、計画樹立）
      ②　公表非対象：本編成期間中の地・林況調査結果について入力する場合
   （３）提供メニュー
      署等、森林事務所のメニューに、一括修正と併せて、小班毎の修正を可能とする「森林調査簿情報入力（現在は局のみ）」を提供

2. 署等、森林事務所で入力可能とする場合の注意点
   （１）併任で運用は不可（権限過剰）
   （２）同一メニュー、同時アクセス防止
   （３）林小班の新規登録、分割、統合、削除、林小班名の振直しがある場合は、局で事前に登録
      ※　DBとの整合性を取るため（とのこと）
   （４）調査簿等情報入力に関わる相関チェックをもたせる

	相関チェック				相関チェック対象DB
	エラー			警告	
メニュー	A	B	C	D	
調査簿等情報入力	登録不可	登録不可	登録可	登録可	最新
区域等修正	登録不可	登録不可	登録可	登録可	最新

相関チェックのメッセージ内容について（例）

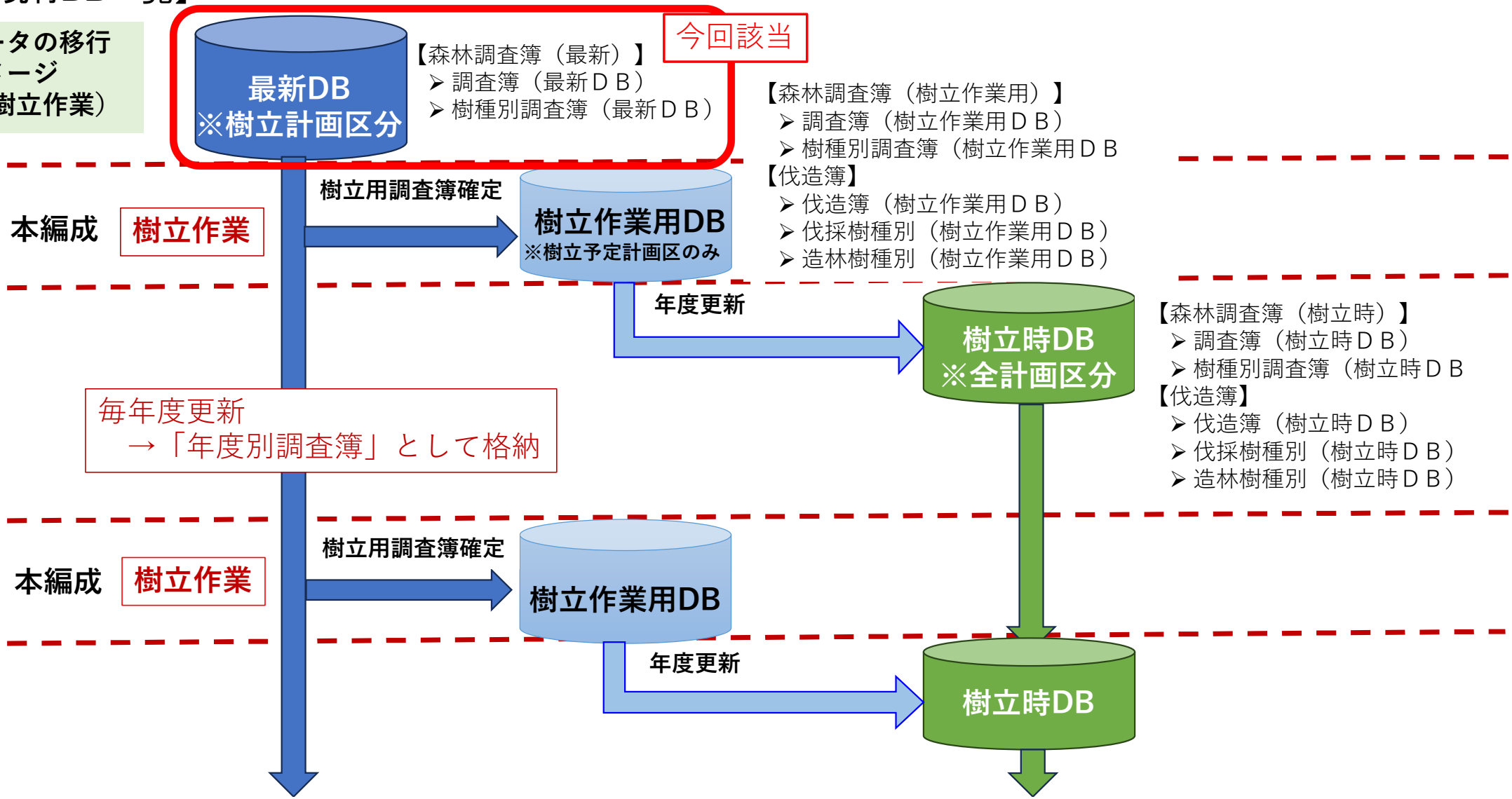
メッセージ内容	チェック内容	相関チェックランク
伐期齢が正しくありません。	伐期齢がゼロまたは30≦伐期齢≦200の範囲となっているか	相関チェック（Aランク）
回帰年が正しくありません。	回帰年が未入力または15≦回帰年≦60の範囲となっているか	相関チェック（Aランク）
ha当たり材積が正しくありません。	ha当り材積の入力が0≦ha当り材積≦1999の範囲となっているか	相関チェック（Aランク）
混交歩合が正しくありません。	混交歩合の入力が0≦歩合≦100の範囲となっているか	相関チェック（Aランク）
面積歩合が正しくありません。	面積歩合の入力が0≦歩合≦100の範囲となっているか	相関チェック（Aランク）
総材積が登録可能な最大値を超えています。	総材積が登録可能な最大値を超えているか	相関チェック（Aランク）
胸高直径が登録可能な最大値を超えています。	胸高直径が登録可能な最大値を超えているか	相関チェック（Aランク）

【機密性２情報】

【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【システム担当者限り】

【現行DB一覧】

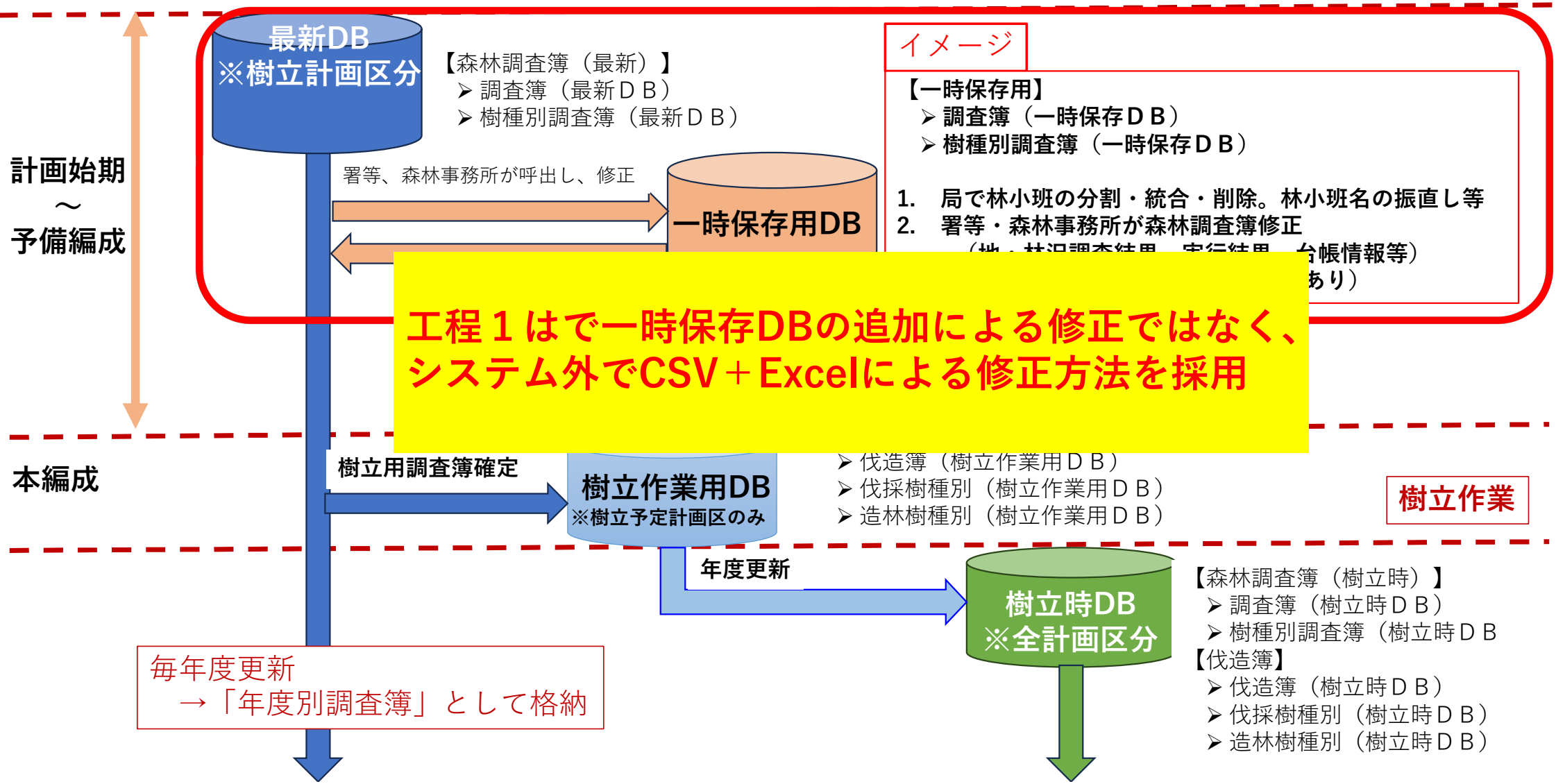


【機密性２情報】

【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【システム担当者限り】

【改修後DB一覧イメージ】



【機密性２情報】

【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【システム担当者限り】

【要望イメージ（スプレッドシート＝CSV抽出の調査簿に近い）】

※　スプレッドシートをベースとして、大量の一括修正は、別途一括修正画面で修正できれば尚便利（次Ｐ②）

署等承認　局承認　森林管理局　森林管理署　国/官　林班　小班コード　小班名　計画区コード　森林計画　県市町村コード　市町村名　担当区コード　担当区　対象森林　要存置コード　要存置　樹立小班コード　樹立小班名　林地区分コード　林地区分　現樹種1コード　樹種名1　現等級1　現樹種2コード　樹種名2　現等級　林細コード　林種細分　林相コード　林相　材積H　伐年度コ　伐年度開　更新年度　林種コード　林種　施方コード　施業方法　機能類型コード　機能類型

[redacted]

※ 現行のCSVはコードで表示（下図）
　一括修正シート(例：上図)では入力画面（右図）のように
　1.　コードの値を表示（リストが多いものはコード入力可併用）
　2.　リストから選択　など

【調査簿】

森林管理局	森林管理署	官造地	林班	小班	森林計画	県市町村	担当区	対象森林	要存置	樹立小班	林地区分	山地災害	水源涵養	快適環境	保健文化	木材生産	長期育成	国土保全	保護林	レクの森	生産群	公益区分	林地保全	施業細分	保安個数
600	200	0	[redacted]					0	1	[redacted]	1	1	1	3	1	2	0	0	2010	0	0	0	1	4	
600	200	0						0	1		1	1	1	3	1	2	0	0	2020	0	0	0	1	4	
600	200	0																							
600	200	0																							
600	200	0																							
600	200	0																							
600	200	0																							
600	200	0																							

１小班１行：横に全項目

スプレッドシート以外の実現方法でもかまわないが、以下機能は必要か
　※　コピペ、連続コピー、ドロップダウンリストから選択など
　※　相関チェック
　※　修正箇所のハイライト等（【参考イメージ】上段：Before、下段：After）
　　✓　Before＆Afterだけでなく修正箇所をハイライト等視覚的にわかるように
　　✓　BeforeとAfterは明確にし、Beforeは編集不可
　※　調査簿と樹種別調査簿の形式の違う行・項目構造の編集を実現する
　　例えば、樹種別調査簿はどこかの項目から樹種別調査簿入力画面へ飛ぶ構造とし、別画面で入力する、とか）

【樹種別調査簿】

森林管理局	森林管理署	官造地	林班	小班	樹種	点被	層区分																		
[redacted]		0	10010	100	1210	1	0																		
		0	10010	100	1620	1	0																		
		0	10010	100	1670	1	0																		
		0	10010	100	2010	1	0	10	10	163	0	0	0	475	0.5	0.1	42	0	00600002(	00600002(	120	1	33	4.24	
		0	10010	100	2150	1	0	10	10	163	0	0	0	475	0.5	0.1	42	0	00600002(	00600002(	120	1	33	4.24	
		0	10010	100	2920	1	0	50	50	163	0	0	0	2374	2.4	0.1	42	0	00600002(	00600002(	120	1	33	21.19	
		0	10010	101	1210	1	0	5	5	163	0	0	0	262	0.3	0.1	42	0	00600002(	00600002(	120	1	33	2.34	
		0	10010	101	1620		0							523	0.5	0.1	42	0	00600002(	00600002(	120	1	33	4.67	
		0	10010	101	1670	1	0	15	15	163	0	0	0	785	0.8	0.1	42	0	00600002(	00600002(	120	1	33	7.01	

１小班複数行：樹種別に行を分け、全項目

【機密性２情報】

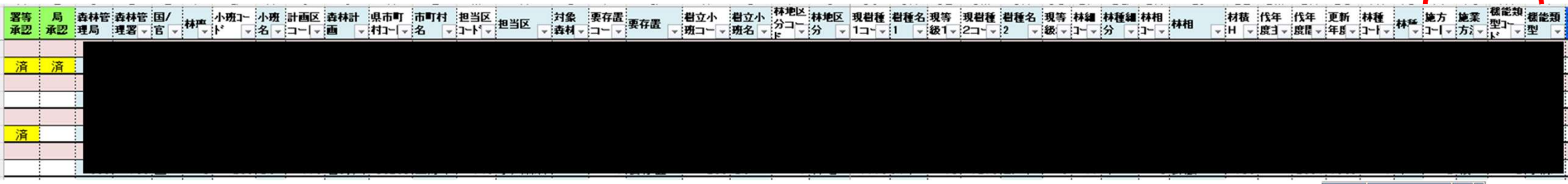
【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【システム担当者限り】

【要望イメージ（一括修正）】

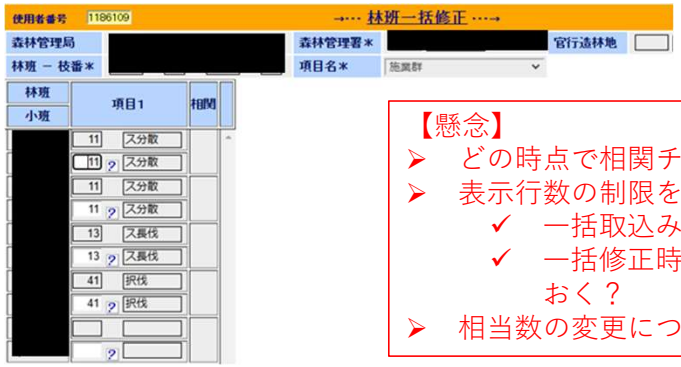
※ 例示の選択項目はグループ単位ではない

① 調査簿項目を、例えば、刷新の子画面単位で項目をグループ化し、各グループを入力する際に展開など
② 法令、地・林況の一括修正は、例えば相関単位など一括修正の遷移先画面等があれば便利…（②へ）
③ １計画区あたりの小班数から、縦に1,000～10,000行の表示になるので、最初は林班毎にグループ化され、小班を確認/入力する際に展開とか（必須でない）



②「法令、地・林況の一括修正は、一括修正の遷移先画面等があれば…」について

- 木材生産
- 水源涵養
- 山地災害
- 快適環境形成
- 保健文化
- 国土保全林
- 保護林区分
- レク森区分
- 林地保全
- 自然公園
- 施業細分
- 公益的機能別施業森林
- 施業方法
- 機能類型
- 施業群
- 緑の回廊
- 林種細分
- 林種
- 地質
- 土壌型
- 標高
- 風衝害
- 霜害
- 雪害
- 下層植生
- 下層被度
- 下層高さ
- 林型区分
- 林型層構造
- 森林帯
- 観察種類
- 観察内容
- 観察情報種
- 林道距離
- 国立公園名
- 国定公園名
- 県立公園名
- 保護林名称
- レク森名称
- 伐採方法(指定施業要件)
- 植栽指定(指定施業要件)
- 伐採限度面積(指定施業要件)
- 調査方法
- 国有林名等
- 備考１
- 備考２
- 基本図番号
- 空中写真番号
- ha 当り材積
- 保安林
- その他法令
- その他契約



現行刷新では左記の項目について林班一括修正可能だが、
A）100件単位の制限あり
B）１項目単位のため、相関チェックにひっかかると登録できず、元に戻って他の関連項目を修正しなければならない

A）制限なく
B）①のグループや相関関係単位の一括修正画面に遷移し、一括修正画面単位で相関チェックをクリアし、スプレッドシートに反映
⇑　スプレッドシートの項目か、上部に遷移用ボタン等

【懸念】
- どの時点で相関チェックをかけるか。
- 表示行数の制限をなくした場合の相関チェックの負荷は？
  - ✓ 一括取込みの際に相関チェックをすると相関エラー祭りになる可能性
  - ✓ 一括修正時に相関チェックの流れに沿って項目を選択して各項目で相関チェックをクリアしておく？
- 相当数の変更について、一括してDBへの取込みが可能か

【参考】森林調査簿とDBの関係（2025/3/28）

【参考資料】署長意見書取りまとめの例

○小班分割、統合等

様式4

(4) 国有林野の区画の名称及び区域に関する事項

[redacted]

整理番号	林小班	森林調査簿による現況					分割又は統合の別	分割又は統合の案								分割又は統合する理由
		機能類型（タイプ別）	施業群又は生産群	林種の細分	林齢	面積(ha)		機能類型（タイプ別）	施業群又は生産群	林種の細	林齢	面積(ha)	混交歩合(%) スギ	ヒノキ	その他	ha当たり蓄積(m3)	
1	[redacted]	空間		天	185	19.24	分割	自然		天	185	19.21			100	130	保護林の設定に伴い、貸付地について小班分割し、保護林設定箇所について機能類型を自然維持タイプに変更するため。なお、分割後の小班については二(他貸)ホ(レ貸)とする。
								空間				0.02					
								空間				0.01					
2	[redacted]	空間		天	185	3.91	分割	自然		天	185	3.53			100	180	保護林の設定に伴い、貸付地について小班分割し、保護林設定箇所について機能類型を自然維持タイプに変更するため。なお、分割後の小班についてはヘ(レ貸)とする。
								空間				0.38					
3	[redacted]	土砂				28.88		土砂				24.68					実測による面積 4.19942ha 減
4	[redacted]	水源				0.25	削除										小川事業宿舎建物用地売払
5	[redacted]	水源				0.02	小班名振り直し	水源				0.02					[redacted]
6	[redacted]	水源				0.62	小班名振り直し	水源				0.62					
7	[redacted]	水源				0.11	小班名振り直し	水源				0.11					

○台帳情報の変更に伴う機能類型の修正

様式5－1

(5) 機能類型に関する事項

（ア） 機能類型及びタイプ別の区域

[redacted]

林小班	森林調査簿による現況				変更の案		変更する理由
	林種の細	林齢	面積(ha)	現在の機能類型（現在のタイプ）	面積(ha)	機能類型（タイプ別）	
[redacted]	天	214	17.94	森林空間利用	17.94	山地災害防止	関係市町村の意向や利用状況等を踏まえ、レクリエーションの森を廃止することとしたため。
	天	214	39.30	森林空間利用	39.30	山地災害防止	〃
			0.00	森林空間利用	0.00	自然維持	〃
	天	170	10.21	森林空間利用	10.21	山地災害防止	〃
			0.00	森林空間利用	0.00	自然維持	〃
	単	47	1.90	森林空間利用	1.90	水源かん養	〃
	天	104	15.66	森林空間利用	15.66	山地災害防止	〃
	天	48	0.80	森林空間利用	0.80	山地災害防止	〃
	天	48	2.43	森林空間利用	2.43	山地災害防止	〃
			0.00	森林空間利用	0.00	自然維持	〃
			0.00	森林空間利用	0.00	自然維持	〃
	天	154	3.89	森林空間利用	3.89	山地災害防止	〃
	天	50	16.13	森林空間利用	16.13	山地災害防止	〃
	天	154	18.78	森林空間利用	18.78	山地災害防止	〃
			0.00	森林空間利用	0.00	自然維持	〃
	天	154	3.03	森林空間利用	3.03	山地災害防止	〃
	天	48	7.85	森林空間利用	7.85	山地災害防止	〃

（記載要領） 機能類型の変更に伴って小班を分割する場合には、「変更の案」欄を仮小班の二段書きとする。

【参考資料】朱書き修正調査簿の例

森林調査簿携行版

林　班：[redacted]（森林事務所）：[redacted]　令和03年03月31日樹立
森林管理署：[redacted]　官行造林地：　森林計画区：[redacted]

区画 小班/旧小班	機能類型/機能類型の細分	施業群・保護林等	公益施業/区分/林保/搬出特定	法指定等	施業方法/細分/長期育成	面積 林地/その他区分/合計/採取区	面積 ha	林況 林種/林種の細分/林相	樹種	点生木・被害木	層区分	混交歩合 %	面積歩合 %	林齢 年	材積 ha当り m3	材積 総数 m3
[redacted]	水源	択伐	ア 林	水涵保 鹿防止	天（朱書き：天単） 天（朱書き：天単）	林地 林道 ＊道路 小計 合計	376 024 023 047 423	天 天 広	 スギ 他広葉樹 計 N計 L計			 20 80 100 20 80	 20 80 100 20 80	62 62 62	~~272~~ 500	 205 818 1023 205 818
	水源	ス分散	ア 林	水涵保 鹿防止	単 単	林地 合計	~~286~~ 1.26 286 1.11 人伐	単 単 針	 スギ 他広葉樹 計 N計 L計			0 0 0	 81 19 100 81 19	6 6 6		0 0 0
	水源	ヒ長複	ア 林	水涵保 鹿防止	複 複	林地 ＊林道 小計 合計	823 033 033 856	単 単 針広	 スギ ヒノキ 他広葉樹 計 N計 L計			 25 30 45 100 55 45	 24 76 100 100 0	98 98 98 98	~~245~~ 200	 504 605 907 2016 1109 907
	水源	ス分散	ア 林	水涵保 鹿防止	単 単	林地 合計	1135 1135	単 単 針	 スギ ヒノキ 他広葉樹 計 N計 L計			 82 10 8 100 92 8	 75 25 100 100 0	60 60 60 60	287	 2670 326 261 3257 2996 261
	水源	ヒ分散	ア 林	水涵保 鹿防止	単 単	林地 合計	047 047	単 単 針	 ヒノキ 計 N計			 100 100 100	 100 100 100	97 97	321	 151 151 151

2頁

森林調査簿

林　班：[redacted]　担当区（森林事務所）：[redacted]
森林管理署：[redacted]　官行造林地：　森林計画区：[redacted]　令和03年03月31日樹立

都道府県/市町村/国有林野名等	要存置区分/対象森林の区分	小班/旧小班	機能の種類 木/水/山/快/保	機能類型/機能類型の細分	施業群/保護林等	公益施業/区分/林保/搬出方法特定等	法指定等/自然公園等の名称	保安林施業要件 伐採方法/植栽指定	伐採限度面積 ha	施業方法/細分/長期育成/林地等区分	面積 林地/その他区分/合計/採取区	面積 ha	林種/林種の細分/林相/立木度/樹冠疎密度	樹種	点生木・被害木	層区分	混交歩合 %	面積歩合 %	林齢 年	胸高直径 cm	樹高 m	ha当り本数 本	材積 ha当り m3	材積 総数 m3	連年成長量 m3	成長率 %	主伐 年度/伐採方法/伐採率/伐採量/面積	間伐 年度/伐採率/伐採量/面積	更新年度 年	地位 樹種 現在/将来	地位 等級 現在/将来	地位 歩合 将来	地利 現在/将来	立地級 現在/将来	傾斜/土壌/地質	有効深度/局所地形/土性/堆積型	下層植生 種類/被度/高さ	林型区分/径級区分/層構造	森林帯/標高/温量指数/降水量/林道からの距離	方位/風衝害/雪害/害	基本図番号/空中写真番号	調査方法	備考
[redacted]			H H M L L	水源	ス長複	ア 林	水涵保 鹿防止	無 有	1000	複 複 林	林地 ＊森作 ＊道路 ＊他貸 ＊沢敷 小計 合計	1332 016 003 017 030 066 1398	[illegible] [illegible] 針 7 密	 スギ ヒノキ 他広葉樹（朱書き：ヒノキ） 計 N計 L計		上 上 上 下	 52 36 12 100 88 12	 40 44 16 100 84 16	64 64 64 64	 24 18	 15 12		262	 1815 1256 419 3490 3071 419	 327 176 34 537 508 38	 18 14 08		H18 34 1521 7.32	S32	1110 1210 2920 1110 1210 2920	13 10 2 13 10 2	 49 44 7			3 5～ 304 530	深 平衡 埴質 匍行			暖温帯 1 1 0 6 5 0～	南 無	0014		011 林種変更
			H H M L L	水源	ス分散	ア 林	水涵保 鹿防止	無 有	1000	単 単 林	林地 ＊森作 ＊道路 ＊沢敷 小計 合計	443 011 073 030 114 357	単 単 針広	 スギ 他広葉樹 計 N計 L計			0 0 0	 56 44 100 56 44	4 4 4			2000		0 0 0	00 00 00		H29 皆 100 1193 5.39		H30	1110 2920 1110 2920	13 2 13 2	82 18			3 5～ 304 530	深 平衡 埴質 匍行			暖温帯 1 1 0 6 5	南 無	0014		011
			H H M L L	水源	ス分散	ア 林	水涵保 鹿防止	無 有	1000	単 単 林	林地 ＊沢敷 小計 合計	151 001 001 152	単 単 広 4 密	 スギ ヒノキ 他広葉樹 計 N計 L計			70 20 10 100 25 75	80 72 10 100 100 0	98 98 98 98	 30 22	 18 14		~~223~~ 100	 70 18 264 352 88 264	 05 01 21 26 05 21	 05 03 08	更新伐		T12	1110 1210 1110 1210	12 10 12 10	83 17			3 5～ 304 530	深 平衡 壌土 匍行			冷温帯 1 2 0 6 5 0～	北西 無	0014		011
			H H M L L	水源	ヒ長複	ア 林	水涵保 鹿防止	無 有	1000	複 複 林	林地 森作 合計	3.50 0.20 406	単 単 針 6 密	 スギ ヒノキ 他広葉樹 計 N計 L計			20 70 10 100 89 11	 10 80 10 100 90 10	25 25 25 25	 13 11	 8 6		~~175~~ 161	 54 213 33 300 267 33	 42 213 22 277 255 22	 78 100 66			H08	1110 1210 1110 1210 2920	12 10 12 10 2	10 80 10			3 5～ 304 530	深 平衡 壌土 匍行			冷温帯 1 2 0 6 5 0～	北西 無	0014		011 森林作業道 R3間伐 スギ 60m3 ヒノキ 100m3
			H H M L L	水源	ヒ長複	ア 林	水涵保 鹿防止	無 有	1000	複 複 林	林地 林道 沢敷 小計 合計	~~459~~ 4.38 0.21 020 020 479	単 単 針 10 密	 ヒノキ 計 N計			 100 100 100	 100 100 100	22 22	 11	 7		101	 464 464 464	 570 570 570	 128			H11	1110 1210 1110 1210 2920	12 9 12 9 2	30 60 10			3 0～ 304 530	深 平衡 壌土 匍行			冷温帯 1 2 0 6 5 0～	北東 無	0014		011 林道新設 300m（300m×3.6m×2）

1頁